

# 胎児診断治療センター

## 1. スタッフ

センター長（兼）教授 奥山 宏臣  
副センター長（兼） 講師 1名

## 2. 診療内容

当センターは、平成27年10月1日より胎児診断治療センターとして開設された。産科婦人科、小児科（新生児科）、小児外科、脳神経外科、口腔外科、泌尿器科をはじめ、小児内科外科系の各専門分野にすぐに対応できる体制と、臨床心理士、遺伝カウンセラー、看護スタッフなどの協力体制が整っており、胎児期診断症例が、北摂地域のみならず、大阪府下、京阪神から多数紹介されている。

大学病院の特性を生かし、出生前に診断された胎児疾患に対して、胎児期あるいは出生後に、高度な専門的治療、複数の診療科でのチーム医療を積極的に行っている。

## 3. 診療体制

週2回の胎児異常を専門とする胎児外来がある。必要な場合には、各科医師に胎児外来あるいは各科外来にて、出生前カウンセリングを行っている。さらに、心理的ケアとして、臨床心理士による心のカウンセリングも行っている。また、超音波検査による胎児の形態的スクリーニングを行っている。その他、遺伝子診療部と連携して、出生前の遺伝子診断、母体血胎児染色体検査（NIPT）、羊水による染色体検査も施行している。妊娠中絶症例に対して、グリーフケアを行う体制も整備している。

【表1. 外来診療体制】

	午前	午後
月		胎児超音波
火	胎児外来	胎児外来・胎児超音波
水		胎児超音波
木		胎児超音波
金	胎児外来	胎児外来・胎児超音波

## 4. 診療実績

### (1) 外来診療実績

胎児外来は1日平均20～30人の来院がある。1日平均5人の新患がある。大阪府下はもちろん、広く京阪神からの紹介を受けている。超音波外来では、近隣からの胎児超音波スクリーニングのみならず、カラードプラによる血流診断、4D超音波検査など、新しい胎児診断を試みている。また遺伝子診療部とも連携し、NIPTを主とした出生前診断も行っている。

### (2) 入院診療実績

当センターは、総合周産期センターと連携し、入院患者を取り扱っている。総合周産期センターは母体病床14床、MFICU3床、NICU9床、GCU18床を整備している。分娩統計（総合周産期センターの項参照）が示すように母体合併症の率が高いのが特徴であるが、異常新生児も多く取り扱っており、胎児外来の活動が盛んなことを反映して、出生後の外科的な治療を必要とする先天的な疾患が多いのが特徴である。

羊水検査などの出生前検査および、胎児輸血やシャント術などの胎内治療も行っている。

【表2. 平成29年度統計】

### (1) 胎児外来初診・再診者総数

項目	計
初診	399
再診	1980
計	2379

### (2) 胎児外来受診者の居住地内訳

医療圏	市町村名	初診	再診	計
豊能	吹田市	76	382	458
豊能	池田市	16	100	116
豊能	豊中市	80	342	422
豊能	豊能郡		7	7
豊能	箕面市	38	211	249
三島	茨木市	30	161	191
三島	高槻市	6	44	50
三島	摂津市	6	30	36
北河内	守口市	1	2	3
北河内	寝屋川市	2	22	24
北河内	大東市	2		2

北河内	枚方市	3	18	21
北河内	門真市	1	8	9
北河内	四條畷市	1		1
北河内	交野市	2	7	9
中河内	東大阪市	1	3	4
中河内	八尾市		1	1
中河内	柏原市		4	4
南河内	松原市		7	7
南河内	大阪狭山市		1	1
堺市	堺市		1	1
泉州	貝塚市		5	5
大阪市	大阪市	53	253	306
大阪府以外	大阪府以外	81	371	452
総計		399	1980	2379

## (3) 実施した出生前診断件数

出生前診断	
超音波検査	
総検査数	4812件
初期スクリーニング	333件
中期スクリーニング	517件
後期スクリーニング	658件
遺伝学的検査	
羊水検査	97件
絨毛検査	5件
NIPT	175件
遺伝子診断	4件

## (4) 胎児治療件数

胎児治療	
胎児胸水除去	5件
胎児胸腔-羊水腔シャント	9件
胎児輸血	0件

## (5) 取り扱った胎児疾患内訳（重複あり）

胎児疾患	
increased NT	46
FGR	37
LGA	4
染色体異常	8
羊水過多	16
羊水過少	9
胎児水腫	17
感染症	7

頭部・顔面疾患	44
神経系疾患	32
心疾患	30
不整脈	4
呼吸性疾患	14
消化管疾患	19
筋骨格系疾患	10
泌尿器系疾患	18
生殖器系疾患	6
胎盤・臍帯異常	21
口唇口蓋裂	10
腫瘍	3
血液型不適合	4
遺伝子病	3
ソフトマーカー	11
前児 胎児疾患	23

## (6) 主な院内出生児数

① 染色体異常	3例
② 小児外科的疾患	17例
③ 脳神経外科疾患	8例
④ その他の外科疾患	29例

## 5. その他

## (1) 先進医療

カラードプラ、4D超音波、CTあるいはMRIを用いた胎児診断、さらに羊水中の生化学的分析や胎児採血による直接的な胎児診断にも力を入れている。また、胎児胸水症に対しては、胎内でのシャント術を積極的に行っている。また、未だ日本で行われていない治療方法についての導入を検討している。

## (2) 施設認定状況

日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度

母体・胎児専門医研修基幹施設

新生児専門医研修基幹施設

日本産科婦人科学会専門医施設認定

日本小児科学会専門医施設認定